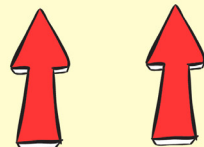


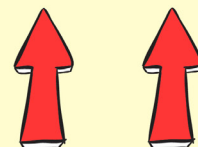


そのすべての^{かく しん}核心にあるもの、No. 1:

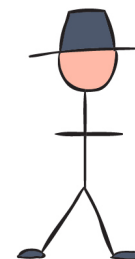
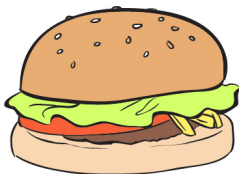
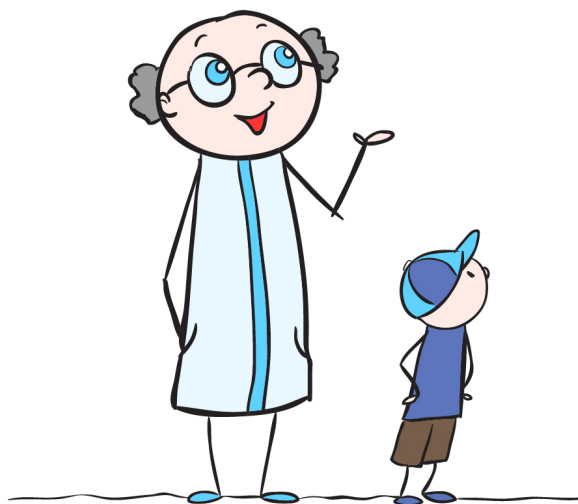
^{かみ}神の^{きよ}聖さと
^ぎ義と^{こう せい}公正さ



^{かみ}神



^{かみさま}神様は、^{ほか}他のどんな存在とも違います。^{かみさま}神様だけが、^{そうぞう}創造されていない無限の存在であり、^{ほか}他の全てのものは、^{そうぞう}創造された、^{げんがい}限界がある存在です。
^{かみさま}神様が^{ほか}他と異なるこの^{こと}違いのことを、^{せいしょ}聖書では、「^{きよ}聖さ」と表現しています。



^{かたち}形のあるもの

^{きよ}聖さは、^{かみさま}神様の^{しんせい}神聖さを表しています。^{かみさま}神様の^{きよ}聖さが、^{かみさま}神様と^{にんげん}人間の^{ほんしつてき}本質的な違いです。^{かみ}神様だけが^{かみ}神であり、^{かみさま}神様のような者は^{ほか}他にいません。^{かみさま}神様は^{すうはい}崇拝に^{あた}値する方です。^{かみさま}神様は^{そうぞうぬし}創造主であり、^{にんげん}人間は^ひ被造物です。
^{かみさま}神様は^{てん}あらゆる点で^{にんげん}人間よりも^{すぐ}優れています。^{しんせい}神聖な方なのです。

^{きよ}聖さは、^{かみさま}神様の「^{どうとくてき}道徳的な^{とくせい}特性」としても見られています。^み道徳的に見て^{かみさま}神様は^{かんぺき}完璧な方であり、^{かた}そういう意味でも、^{つみ}罪深い^{にんげん}人間とは^{かんぜん}完全に^{べつ}別の^{しんせい}存在です。

せいしょ きじょう
聖書、サムエル記上2:2)

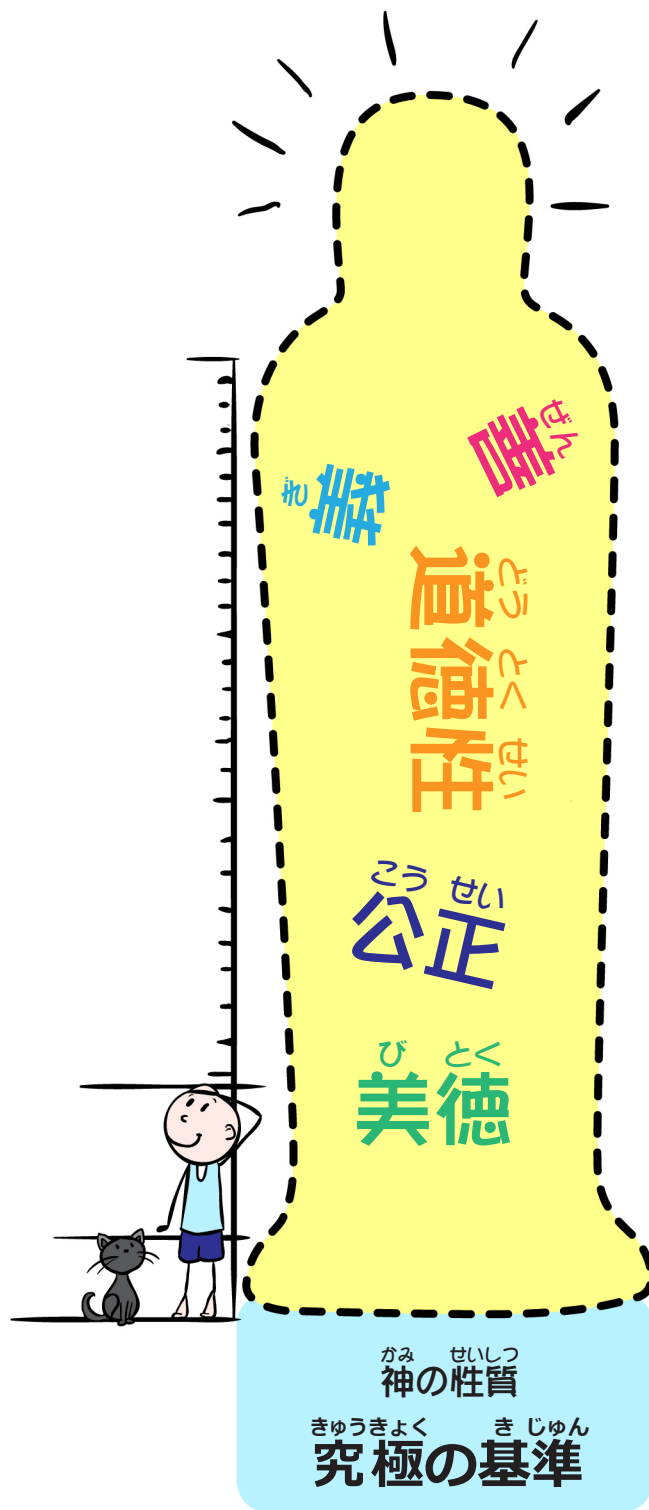


わたしたち あい きよ
私達の愛と聖さ

かみ
神の愛と
あい
きよ
聖

きよ
聖さ

かみさま きよ かぎ せい さいこう きよ ほが
神様の聖さは、限りなく聖なるものです。最高度の聖さなのです。このような聖さは他に
ぞんざい かみさま きよ ほが かみ とくせい い
存在しません。これは、神様の聖さだけではなく、他のすべての神の特性についても言え
ます。神の愛も、知恵も、知識も、力も、神様の特性のすべてが、最上級のものなのです。
くら なに わたしたちになげん かみさま つく
それと比べられるものなど、何もありません。私達人間は神様のがたちに造られているため、
とくせい も あ かみさま こうど むげん とくせい くら もの
このような特性を持ち合わせてはいるものの、神様の高度で無限の特性とは、まるで比べ物に
なりません。神様は純粋な愛であり、純粋な力です。神様だけが、「聖なる、聖なる、聖なる」
かた
方なのです。



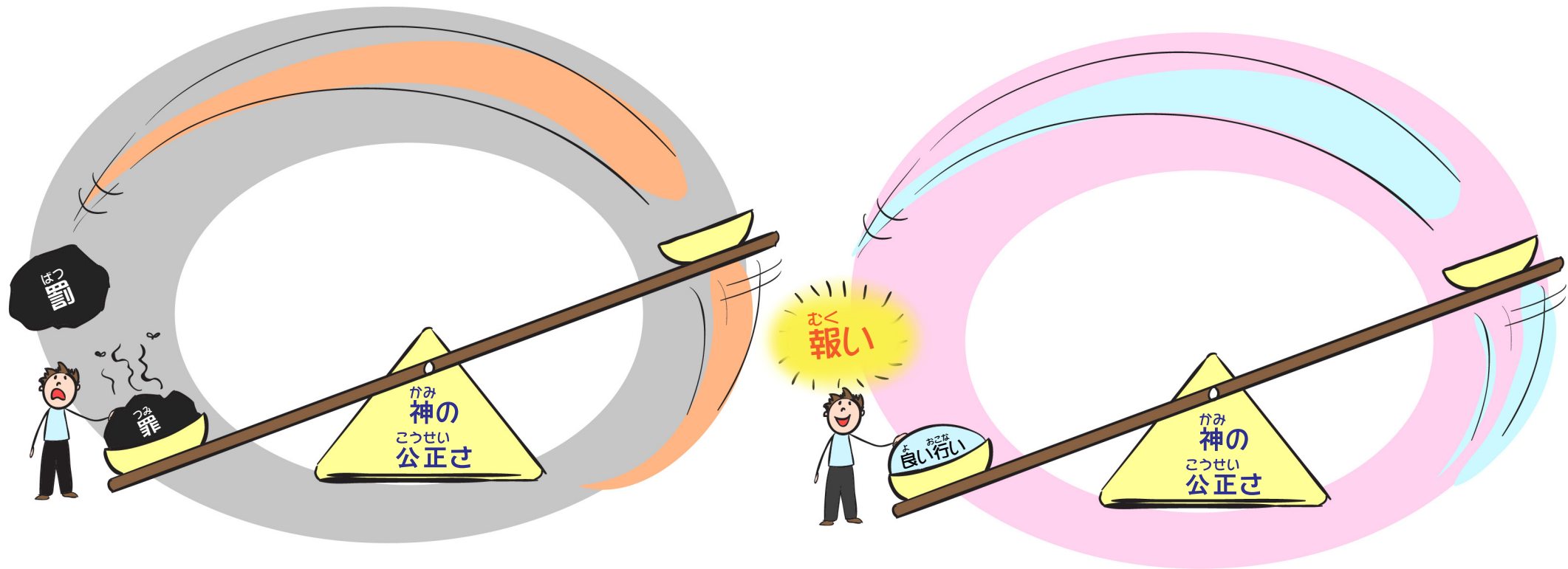
神様の特性の中でも、神の聖さと関係の深いものは、神の義です。義とは、性格が真っすぐなことで、善良であること、美德、道徳的な正しさです。神の義には、神の公正さも含まれます。

神の義とは、神の存在、神の性質と性格が常に義である、つまり善であり、正しく、公正だということです。神御自身が、何が正しいかについての究極の基準なのです。神様の内には、少しの不正もありません。神様こそ義の基準であり、必ず正しいことを行われるからです。神様こそが、完全に高潔で、善良で、正しい方なのです。

わたしは主、正義を語り、公正を告げる者。
(新改訳聖書、イザヤ書45:19)

主は岩であって、そのみわざは全く、その道はみな正しい。
主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。
(口語訳聖書、申命記32:4)

義と公正は、あなたの王座の基。恵みとまことは、御前に先立ちます。
(新改訳聖書、詩篇89:14)

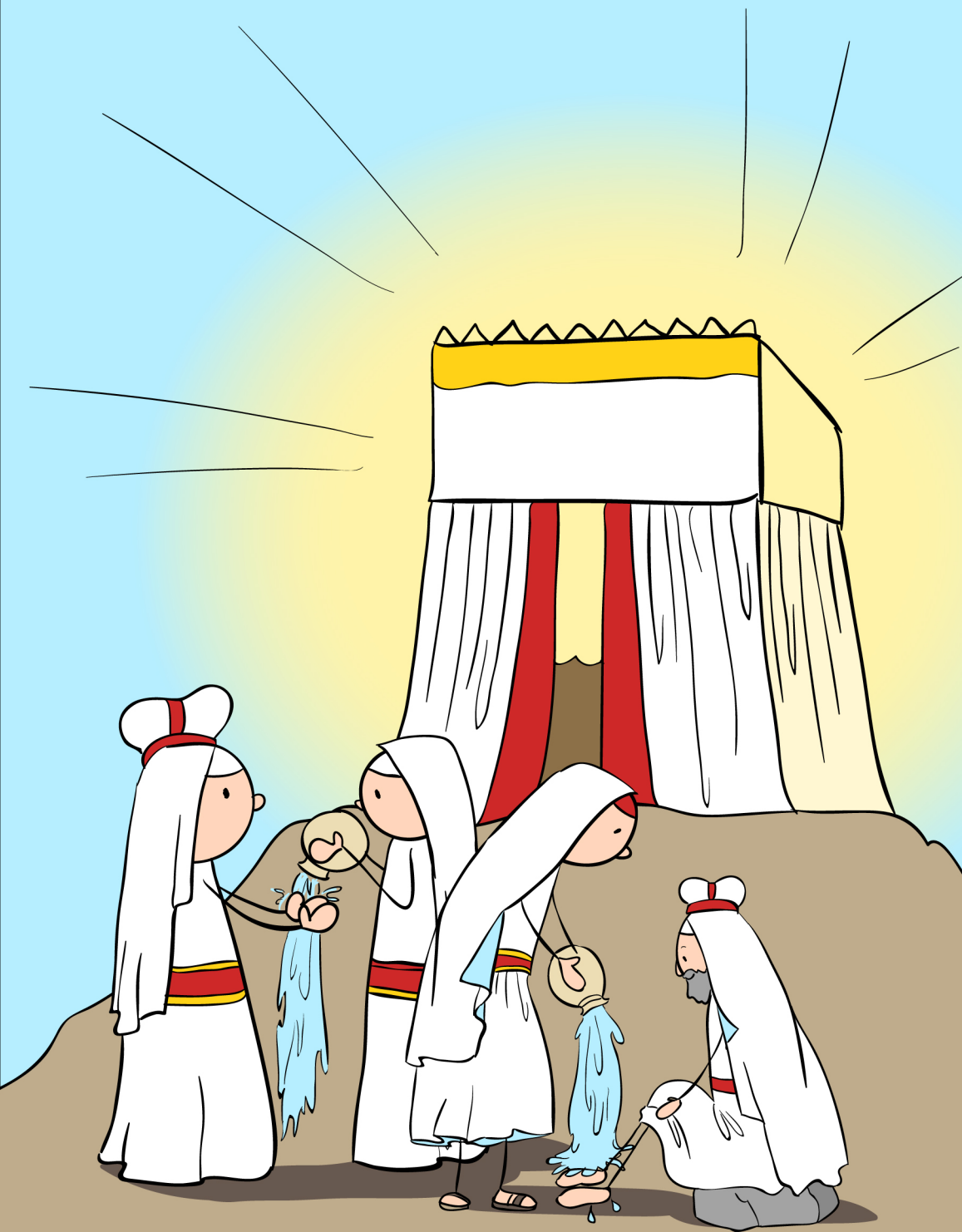


かみさま ほんしつてき ぎ 神様は本質的に義なので、わたくしたち がが がた ぶく 私達との関わり方も含め、すべての面、こうへい こうせい 公平で公正です。かみさま せい がた つみ ようにん 神様は聖なる方なので、罪を容認することはできません。また、ぎ がた 義なる方なので、それぞれの人が受けるにふさわしいあつが ひつよう 報いをする必要があります。かみさま かみさま みこころ みことば 神様は、神様の御心や御言葉にそ ぐ がた 沿った暮らし方を、ただ もの むく くだ 正しい者に報いて下さいます。それとどうよう、ひと つみ おが ばつ 同様に、人が罪を犯すと罰をお与えになります。ほうしゅう ばつ 報酬も罰もないとしたら、かみさま ぶ こうへい 神様は不公平であり、よってぶ ぎ がた 不義な方ということになってしまいますが、それはありえ ません。ぶ ぎ かみ せいしつ ほんしつ はん 不義は、神の性質や本質に反するからです。

かみ せい しつ 神の性質



かみさま せいしつ こうどう どうとくてき がんべき かた かみさま じゅんすい き かた じゃあく がんほう どう き おも ことは
神様は、性質においても行動においても、道徳的に完璧な方です。神様は純粋で義なる方であり、邪悪な願望や動機、思い、言葉、
おこな いっさい えいえん が せい かた ぶんじゅん まった けが しんせい きよ
行いは一切ありません。永遠に変わることのない聖なる方なのです。どんな不純なものにも全く汚されることのない、神聖な清さを
も
持っています。このように、神様は人間の罪深さからは、かけ離れた存在なのです。



きゅうやくせいしょ
旧約聖書では、イスラエルじんは、さいし いっぱんみん
散々^{かすかす}の清め^{きよ}の儀式^{ぎしき}を行うように教えられていました。¹
からだ^{からだ}でも心^{こころ}でも、ひと^{ひと}を汚^{けが}したり不浄^{ふじょう}にするものは何でも、
ひと^{ひと}が神様^{かみさま}に近づ^{ちか}いたり、その幕屋^{まくや}や神殿^{しんでん}など神様の^{かみさま}
すまわれる場所^{ばしょ}に近づ^{ちか}くのを妨^{さまた}げました。そこで
神様^{かみさま}は、自分達^{じぶんたち}を清め^{きよ}めるために、こうした儀式^{ぎしき}を
おこな^{おこな}うようにといわれたのです。これは、せいなる方が、
きよくないあらゆるものから分け隔^わてられていることを
しめ^{しめ}すものでした。

かみさま じゅんすい きよ
神様は純粹な聖さそのものなので、^{つみ まじ}罪と交わることはできません。それは、^{かみさま ほんしつ}神様の本質そのものに
^{はん}反することだからです。

あなたの目は悪を見るにはあまりに清い。（^{しんきょうどうやくせいしよ}新共同訳聖書、^{しよ}ハバクク書1:13）

あなたは^{ふ せい よろこ かみ}不正を喜ぶ神ではなく、あなたのも^{あく}とに悪がとどまることはありません。
（^{せいしよきょうかいきょうどうやくせいしよ し へん}聖書協会共同訳聖書、詩編5:5）

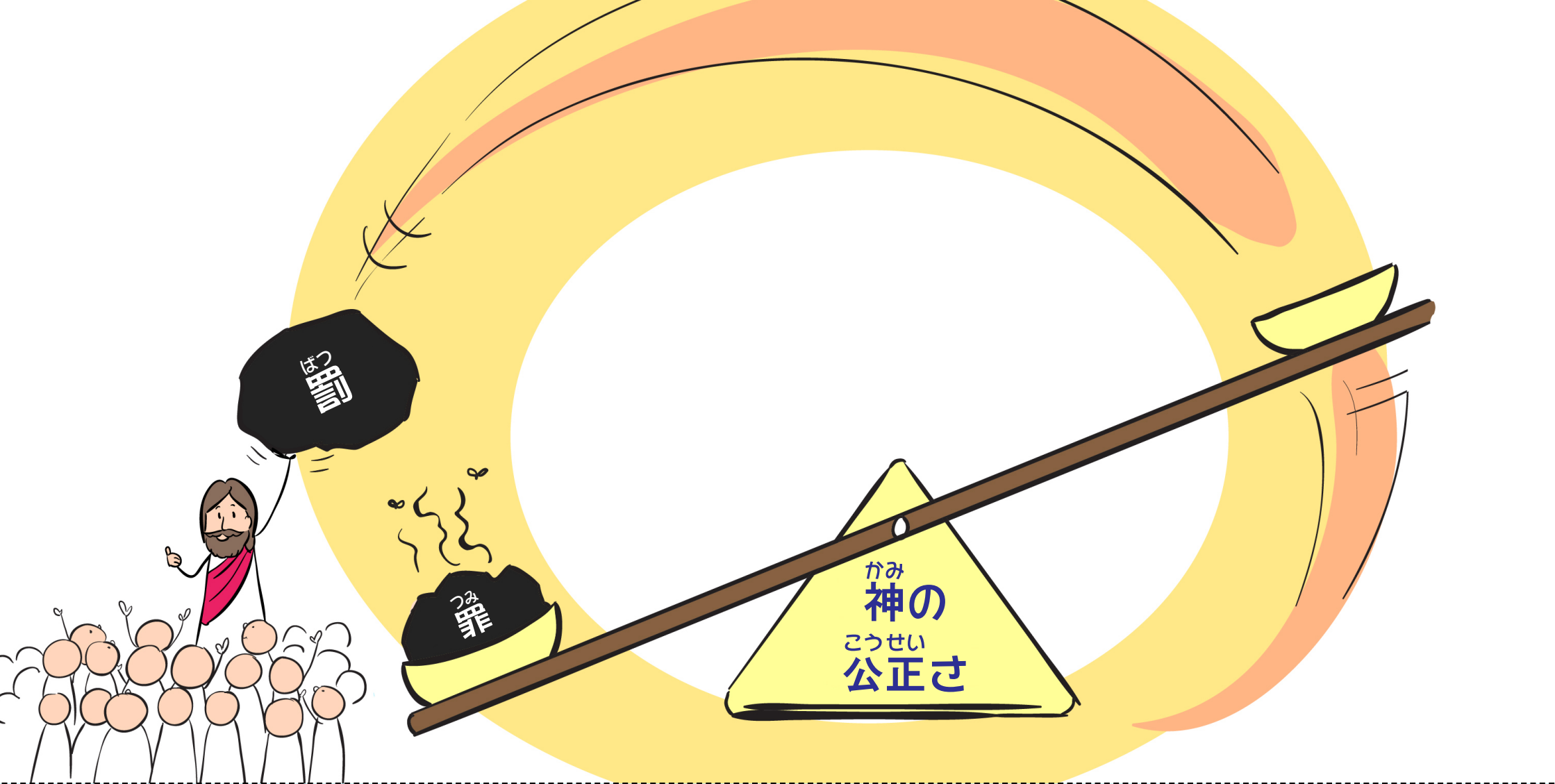
^{かみ だん}神は断じて悪を行うことなく、^{ぜんのうしや だん}全能者は断じて^{ふ ぎ おこな}不義を行うことはない。（^{こう ご やくせいしよ}口語訳聖書、^きヨブ記34:10）

だれでも^{ゆうわく あ ば あい}誘惑に会う場合、「この^{ゆうわく かみ}誘惑は、神からきたものだ」と言^いってはならない。神は悪の^{かみ あく ゆうわく}誘惑に
^{おちい}陥るようなかたではなく、また^{みづか すす}自ら進んで人^{ひと}を^{ゆうわく}誘惑することもなさない。（^{こう ご やくせいしよ}口語訳聖書、
ヤコブの^{て がみ}手紙1:13）



かみ 神のあがないの けい 計画 かく

かみさま もともとせい かた 神様は、元々聖なる方なので、つみ おお め み 罪を大目に見ることができません。ところが、ひと だれ つみ おか 人は誰でも罪を犯します。かみさま こうせい 神様の公正さと
せい き かんぺき つみ たい 正義は完璧なので、罪に対しては、そのむく ばつ 報いや罰があるし、また、あるべきです。けれども、かみさま うえ あい 神様はまた、この上なく愛と
あわ み かた 憐れみに満ちた方でもあるので、あがないの けいかく つく 計画を作られました。それには、イエスがじゆにく つみ 罪のない人生を送り、
さい ご じんるい つみ じゅうじ か いのち ささ 最後には人類の罪のために十字架で命を捧げるといふ、ぎ せい よう 犠牲を要しました。そのすべてが、かみさま こうせい せい き み 神様の公正さと正義を満たし、
かみさま う い ひと あいだ わ かい 神様と、イエスを受け入れる人との間に、和解をもたらすのです。かみさま ご しん ひ ぞうぶつ わだしたち あい 神様は、御自身の被造物である私達への愛から、
このようなことをされたのでした。



わたしたちが^{かみ}神を^{あい}愛したのではなく、^{かみ}神がわたしたちを^{あい}愛して^{くだ}下さって、わたしたちの^{つみ}罪のために^{そな}あが^{もの}ないの供え物として、
^み御子をお^こつかわしになった。ここに^{あい}愛がある。（口語訳聖書、ヨハネの^{こう}第一の^ご手紙^{やくせいしょ}4:10）

^{かみ}神はそのひとり子^ごを^{たま}賜^{たま}わったほどに、この^よ世を^{あい}愛して^{くだ}下さった。それは^み御子^こを^{しん}信^{もの}じる者がひとりも^{ほろ}滅^{ほろ}びないで、
^{えいえん}永遠^{いのち}の命^えを得^えるためである。（口語訳聖書、ヨハネによる^{こう}福音書^{ごく}3:16）

かみさま こうせい ただ かた わ とき り がい
神様が公正で正しい方であると分かれば、時には理解できないことがあっても、神様がして下さることは
つね ただ わ かみさま たよ
常に正しいと分かり、神様を頼りにできるようになるでしょう。神様はすべてのことを完全に理解しておられ、
わたしたち あい わたしたち しょうきよう あんしん かみさま たよ
また私達を愛しておられるので、私達はどんな状況にあっても、安心して神様に頼れるのです。

かた
固いね！

かみ せい しつ
神の性質

寄稿：チェルシー・サラ、ピーター・アムステルダムによる著作の編集 絵とデザイン：松岡陽子

出版：[マイ・ワンダー・スタジオ](#) Copyright © 2014年、ファミリーインターナショナル

“Heart of It All, No. 1: God’s Holiness, Righteousness, and Justice”--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 神、そのすべての核心にあるもの、救い